

No.84

2013

2月1日発行

萩の郷

発行者

下市田区

発行責任者

下井 美紀男

印刷

下市田・キタバヤシ印刷



新しい学び舎で、授業スタート

〜高森中学校の改築工事を終え、引越し完了〜

平成二十三年七月から始まった高森中学校の校舎改築工事は、外溝部を残し、昨年末に完成した。建物の外壁は、町特産品の一つである「市田柿」をイメージしてオレンジ色となっています。

プレハブの仮校舎から新校舎へ引越しが行われ、本年一月八日から三学期の授業がスタートした。中学生の皆さんが新しい学び舎を使用し、学業に、スポーツに大いに励んで貰いたい。



区の情勢について

区長 下井 美紀男

震災と原発
事故から満二
年になろうと
しています。
現地は避難生
活など、心痛
む日々が続い
ております。
新年を迎え、
本年も健康で
無事過ごせま
すようお願い
いたします。



区内に於いて交通死亡事故が発生してしまいました

先号に続き、区からの様子をお伝え致します。

(一) 天竜川の河川内の雑木が繁茂して、区民の皆さんからアレチウリの除去作業時に、環境や災害の点からもうにかとの声も聞かれました。このほど所管の役所の事業

た。下市田河原地帯を、農免道の開通以来、危険な箇所がいくつか指摘されております。今回の現地診断に加えて、農免道は農家にとっての作業現場でもあり、安全のためこの再点検と対策の必要を感じます。

で、きれいに伐採され搬出されました。この工事に当たった「吉野組」という会社のご厚意と便宜で伐採木を利用したい人や区内でのほんやりのご神木、元旦の神社のかがり火用として使えるように運搬、配達までしていただき、地域のために貢献いただきました。

(二) 去る十一月には、地

(三) この二月は、公民館支館事業のひとつ、「地元町議と語る会」が開かれます。支館部員の皆さんが、一生懸命企画・運営にとりくんでおります。区民の皆様の大勢の出席を願い、今年の秋にはリニアの路線や駅も示されるようです。下市田にとって大切な話し合いの場と考えます。

松岡城址の秋を観る会

愛護会会長 宇佐美卓二

昨年十一月二十四日松岡城址愛護会が主催し、高森町史学会・高森町自然愛護会の共催、高森町・高森町教育委員会・高森町資料館・下市田区・飯田女子高等学校の後援を頂き、第二回「松岡城址の秋を観る会」を開催しました。



昨秋は寒波が早く到来し、紅葉が散ってしまふことが危ぶまれましたが、当日は天気がよく、紅葉も梢に残り、落葉が程よく地面に敷きつめられ、秋の風情でした。

前回同様、飯田女子高
茶道クラブの生徒さん達

る会
卓二
の協力により裏千家淡交会の野点が行われる中
で心鼓毬「彩」の太鼓・コカリナグループ「かっこう」、今回新たに「しな
の風の子合唱団」・「劉胡
会」の二胡が加わり演奏
を楽しんでもらいました。
ご出演の皆様にはありが
とうございました。牛牧
のおやきの会の協力で販
売も行われました。前回

のように、二百余名の皆様が催しを楽しみ、城址内をご覧頂けましたことは、愛護会として心から感謝申し上げます。

この催し以外に、年四回の草刈り、樹木の伐採、枝打ち等も行っており、また、す会の活動に際し、日頃

町当局・教育委員会・その他関係の方々に大変お世話になっております。特に下市田区の皆様には、一方ならぬご協力をいただいております、この紙上をお借りして、厚くお礼申し上げます。

この催しは、町指定の文化財であります松岡城址を大切にし、存在を広く世に知ってもらう為に

は「どうしたら良いだろうか」と愛護会で考えた末、「先ず、城址を、町内外の方に知ってもらうことから始めよう」とスタート致しました。

十数年後にリニアの開通を控え、城址が町の貴重な財産として、末永く愛され、また県下有数の城址として脚光を浴び、新しい伊那谷の幕開けの起爆剤の一助となる事を期待して、皆様のご理解と協力をお願い致します。

女性ふるさとづくり
すいとん店出店

三區丸山梅香

はならないと、気の休まることのない二日間でしたが、大勢のお客様や会

女性ふるさとづくりの活動が本年度で終了となる中、町の収穫祭のすい
とん店をどうするべきか
非常に苦慮しました。何
回か会合を持つ中、力行
会役員の方をはじめ役場
事務局の方や会員の皆様
のご協力で実施に漕ぎ着
ける事ができました。野
菜については、一部ご好
まず。



意で調達して頂けたり、前日のテント張りも進んでご参加下さり、本当に大勢のお力添えで本番を迎えました。

当日は今までにない大勢の会員が参加下さり良い交流ができました。又他団体とも持ちつ持たれつの和やかな交流もできました。不都合があつて



ふるさと祭り

「おしるこ」出店

「高森まるごめ、下市田支館三と収穫祭」は十月十七日(土)・十八日(日)の二日間、役場前駐車場を中心に盛大に開催されました。

この祭りに下市田区は恒例のおしるこ店を出しました。

運営したのは例年通り店長の松村副区長をはじめ



赤いエプロンで来客をもてなしました。

初日の十七日は去年と同じ雨模様で途中からテントの奥のコンロの近くに若干雨が溜まるなどありましたが、おしるこ作りに

は支障もなく、盛況で二時半には予定数量を召し上がって頂き閉店となりました。

翌日の十八日は天気も回復し快晴でしかも暖かく、お客様の



萩山郷土芸能保存会

幹事長 松代良夫



事業です。保育園のお子さん、小学校のお子さんは囃子屋台を引いて下さい。氏子の皆さん「サヨヤサーサーイ」のかけ声をかけて下さい。下市田の若者で、獅子頭を持って獅子舞いをしてみようと思っています方、獅子部へどうぞ。祭り囃子をやってみたい方、囃子部へどうぞ。打ち上げ花火の音を聞くと、ワクワクする日本人の身体の中には、お祭りの血が流れているのでしょうか。無病息災、五穀豊穡を願う行事、お祭りですが、市田の人々の団結を見せる

平成二十五年 幹事会役員

- | | |
|-------|--------|
| 幹事長 | 三區松代良夫 |
| 副幹事長 | 五區北原喜好 |
| 〃 | 六區上沼茂 |
| 會計幹事 | 三區林友之 |
| 副 | 一區小平秀幸 |
| 備品幹事 | 一區深見幹男 |
| 副 | 五區宮下芳人 |
| 幹事 | 二區塩沢章好 |
| 〃 | 二區福島昇 |
| 〃 | 三區仲平健二 |
| 〃 | 四區山崎良二 |
| 〃 | 四區三石正一 |
| 〃 | 六區酒井寅男 |
| 獅子部 | |
| 幹事部長 | 原文夫 |
| 副 | 小川修 |
| 〃 | 市岡義久 |
| 獅子部 | |
| 幹事部長 | 上沼春樹 |
| 副 | 小林靖志 |
| 〃 | 矢澤克浩 |
| 〃 | 竹村進 |
| 獅子曳き部 | |
| 幹事部長 | 酒井寅男 |
| 副 | 仲平健二 |

平成二十三・二十四年度 公民館活動を振り返って



部長 松島健治

平成二十三・二十四年度の二年間にわたり、支館部長を務めさせていただきました。初めての支館部長で部長をさせていただきましたが、区三役や支館三役の温かいご援助、また、加えて有能で協力的な部員の皆さんのご尽力でその任を全うすることができましたこと誠に嬉しく思います。加えて区民の皆様方のご協力にも感謝申し上げます。「楽しくなければ公民館(支館)ではない」というような楽しい活動ができました。萩の郷祭り、萩の郷文化祭り等の大きな行事もこうした精神で行うことができました。今後もうこうした気持ちで公



副部長 上沼宏充

二年間突然私の元へ支館部員の依頼がやって来ました。自分に出来るか心配でしたが「やれるだけやってみよう」と覚悟を決め引き受けました。部員としての主な活動は区報の編集、夏の萩の郷祭り、秋の文化祭りなど一年を通して活動があります。私はこの活動を通じて、区長さんをはじめ多くの区民の皆様と交流をさせて頂き、貴重な経験ができました。そして何より一つ一つのイベントと全員の力でクリアする事により達成感と充実感を味わえました。二年間という短い間で



副部長 中村計富

公民館支館部員になって早いものでもうすぐ二年が経とうとしています。年三回の区報作り、七月の「萩の郷祭り」、十月の「萩の郷文化祭り」と、三つの大きな行事がありました。副部長という役をする事になったのですが、最初の一年は何をしていいのかも分からない状態でした。いろいろな人達に話を聞いたり、教えてもらったりしながら終える事ができました。二年目は前年の経験もあり、よくできたのではないかと思います。十一月の研修旅行も楽しく行って来ました。



副部長 林 寿子

二年間の活動は、あっという間でした。最初どの様なことをしているのか、よくわかりませんでした。これも何かの縁、地域に貢献できる良い機会と思えました。夏には大勢の区民の皆さんが参加して、「萩の郷祭り」、秋にはクラブ発表やお年寄りを招いて「文化祭り」ふれあい広場、二月に「地元議員との懇談会」、そして区報の編集・発行と、それぞれ準備から実行と大変でしたけれど、役員の皆さんとチームワーク良く楽しく終えることができました。

区民の皆さんには、いろいろとご協力頂き感謝申し上げます。

したが、部員として活動させて頂き、本当に良かったと思います。最後に部員としてお世話になったすべての方に感謝致します。

いろいろな人達と知り合えたりして、自分にとって、実のある二年で、良い思い出として、残ると思います。

編集委員研修旅行 「新東名と焼津の旅」

下市田支館編集委員は、去る十一月二十五日、四月に開通した新東名高速道路を経由して、静岡県焼津方面へ研修旅行に行ってきました。

当日は、区長さんをはじめ総勢二十二名が午前七時に区民会館に集合し、観光バスで出発しました。朝晩冷え込む季節になりましたが、幸いにも日中は好天に恵まれて、バスの中では昨年よりも盛り上がり、道中を過ごす事が出来ました。

新東名では、大きな特徴である、カーブや坂道が、緩やかな直線的な道路を実感しつつ、でも、実際は自分で運転した方が燃費の良い、エコな走りを感じる事が出来るんだらうなと思いつつ、昼食会の目的地ホテル松風閣へと向かいました。焼津の海と、遠くに見える富士山を背に、豪華な海の幸を堪能し、お酒も入り楽しいひと時を過



ご事が出来ました。午後は、焼津魚市場を見学し、活気ある雰囲気味わい、お土産を沢山買い込んで、最後の目的地になります掛川花鳥園に立ち寄りしました。園内にはペンギンやフクロウをはじめ、色とりどりの珍しい鳥や動物を見たり、触れたりする事が出来ました。見学している最中には部員の頭に鳥がノといったハプニングが起きつつ、楽しい旅行を終え、無事帰路に着きました。この研修旅行を通じて、皆さんとの交流を一層深める事が出来、大変有意義な一日となりました。

特集

正月写真集
巳年金運の年に



巳年だよ
金運連れて
来ておくれ



年長さん
けん玉競争
がんばって



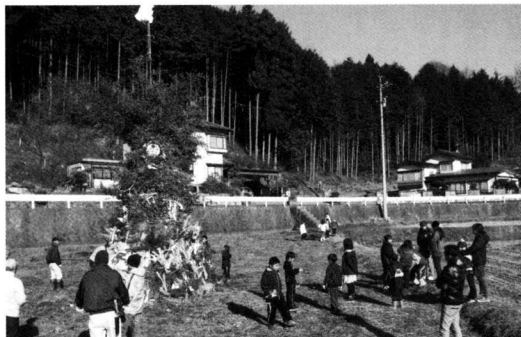
出砂原3常会 元旦顔合わせ

お正月
帰省ラッシュも
命がけ

寒くても
明日の為に
さあ準備



鏡もち
願いを込めて
運を搗く
子供たち
正月笑顔
お年玉
大発会
株価上昇
デフレ脱却



どんど焼
天まで届け
みんなの願い

ようこそ下市田へ

下市田のみなさん

こんにちわⅡ

四区 元木 秀和

ぼっちだった
ので、嬉しかっ
たんだと思い
ます。シユン
はいっつも、
ピー太郎にくっ

私達が越して来てから ついて世話をやいていま
早いもので、七年五ヶ月 す。二人ともオス猫なの
になります。実は越して に、母と子のように、と
すぐ「下市田のみなさん ても仲良しなんです。ピー
こんにちわ」を書かせて 太郎が来てから、我が家
頂いたのですが、新しい は変わった気がします。
家族が増えたのでご紹介 もちろんピー太郎のとり
します。元木シユン(一 あいで負けて泣く子もい
年五ヶ月)産まれて一ヶ ます。
月で我が家へ来ました。 しかし、笑顔が増えた
真っ白で、とてもおとな 気がします。こんな家族
しい子です。もう一人、 ですが、男六人、女一人、
元木ピー太郎(二ヶ月) これからも、よろしくお
よく食べ、よく遊び、人 願います。

なっつこい子で
す。寝る姿もと
ても豪快な子で、
我が家では、人
気者なんです。
ピー太郎が来た
時「シユンとけ
んかしてしまっ
たのではないか」
と心配でしたが、
シユンは怒るこ
となく、すぐ受
入れてくれました
た。ずっと一人

エネルギーの
自給自足を考える

一区 久保田 昌幸

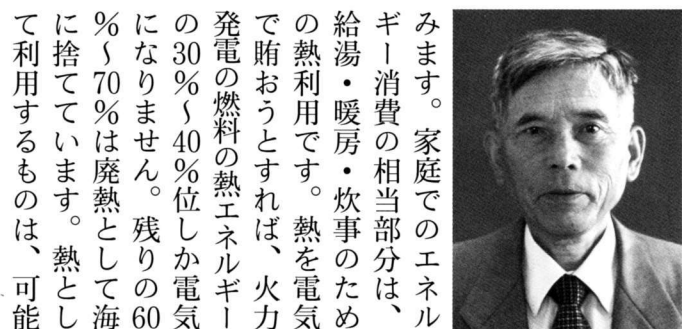
福島原発の事故以来、
原発に頼らないエネルギー
源が議論され始めました。
又、地球温暖化防止対策
の観点からも、再生可能
な、自然エネルギーの利
用拡大が焦点になってま
いりました。

随想

下市田のみなさんへ

三区 立花 真亮

僕は三年前に下市田へ
やって来ました。飯田市
で生まれ家族四人で移っ
て来ました。現在は子供
二人の四人で生活をして
います。三区の荒神前常
会に入れていただきまし
た。現在は常会長という
大変な役をやらせていた
だいて、組合にも入れて
いただいています。なに
もわからず先輩方に色々
と教えていただき本当に



な限り灯油・ガスを使う
方がエネルギーの節約に
なり、地球温暖化防止に
もなります。更に、里山
に豊富にある木・竹を燃
料として利用することを
考える時だと思っています。
高森でも薪ストーブ購
入に対する補助制度も出
来ましたが、自然エネル
ギーの利用拡大のために
は、みんなが「ズク」を
出す意識改革も必要だと
思います。

有難く思っております。
下市田に来てよ
かったです。今はすご
く思います。近所の人か
らは夜間ソフトや参青会
やお祭りに誘っていただ
いて段々と会話もできて
今は楽しい人生を送って
います。下市田に来て本
当に今はうれしいです。
これもなんかの縁かなと
自分は思っています。本
当にありがとうございます。
長男が下市田保育園
へ通い始め、下市田のこ
とが段々わかってきては



また地域の皆様と一緒
に行事等積極的に参加し、
下市田の皆様の役に立て
るように今後もやって行
きたいと思っています。又こ
れからは段々と役員の方
も回ってくると思うので
その時は頑張ってください
いきたいと思います。下
市田の皆様にはこれから
も色々ご迷惑をおかけし
ますが、自分達家族も頑
張っていききたいと思いま
すので、又その時はご指
導をよろしく願います。

充実した中学生生活

中三 帯刀 輝 (三区)



しいものであった。生徒会では給食委員会の委員長となったり、部活では卓球部に所属し、最後の中体連では団体戦で全国大会に出場することでもできた。

今、僕は三年間の中学校生活を終えようとしていたのは、そのような特別なことではなく、級友との日々の生活であった。願ってやまない。

地域の紹介

「四区の松岡城址を観る会」

四区副自治会長 吉川 正晃

下市田四区は、ご存知のように下市田の中では一番小さな区です。毎年春祭りが近づくと舞姫や獅子曳きをする子どもさんをお願いするのに苦労します。児童の数も少ないのです。

しかし四区には高森町の文化財に指定された松岡城址があります。一三四年頃の築城といわれています。この松岡城址で四月二十九日に「鯉泳ぐ新緑の会」を、十一月二十四日「秋を観る会」

子どもたちが松岡城址に集まることが多くなれば、自然に動植物の観察をするようになります。松岡城や郷土の歴史に興味を持つ子どもでています。四区の子どもたちにも素晴らしい公園があるなと思いました。

「子どもらの歓声聞こゆ 落葉みち」

わたしの作文
ぼくの作文

六年生にむけて

がんばりたい事

小五 上沼祐月 (二区)

私は、六年生でがんばりたい事が三つあります。一つ目は、忘れ物を減らす事です。忘れ物をする、授業が一人だけおぼれてしまうからです。な



いねいに書くようにしたいです。三つ目は、六年生になると支部長等になるので、な

ます。もし、副支部長になっても、支部長を支えられるように一生けんめいがんばりたいです。この三つの事は、私が六年生になってがんばりたい事です。六年生は一番上の学年なので三つ全部できるようにがんばりたいです。全部できなくても二つは必ずできるようにがんばりたいです。

の文化財に指定された松岡城址があります。一三四年頃の築城といわれています。この松岡城址で四月二十九日に「鯉泳ぐ新緑の会」を、十一月二十四日「秋を観る会」



地元施設の紹介

「ださらの六地藏」と

「前亡後死三界萬霊碑」

六区 竹内昭一

「ださらの六地藏」は今からおよそ三百年前の正徳五年（一七一五）の「未満水」の時の犠牲者を弔って建てたといわれるが詳しい事は不明。現在の「六地藏」は江戸時代後期の天保十二年（一八四一）に再建されたものです。

「六地藏」とは六道（地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天上の六つの世界）において衆生の苦しみを救うという六体の地藏菩薩のことで、江戸時代には地藏信仰が盛んになったといわれる。

「六地藏」は一般に顔かたちや持ち物が違うといわれている。この六体のいちばん北側の一体は左肩から右脇にかけて一筋割れた線が通っている。これは明治初年の「廃仏毀釈」（仏教排斥運動）の名残りかとも思われる。



この「六地藏」のかたわらには高さ約4mの大きな石碑が建てられている。これは前に述べた「正徳の未満水」の時の多数の死者の供養塔といわれている。

この大石の中央に大きく「前亡後死三界萬霊碑」と刻まれている。そしてその

委員会活動報告

林務委員長 小川 健二

日頃から林務委員の活動に対し、ご理解とご協力に感謝申し上げます。平成二十四年度の活動は、四月の年度計画に基づき、最初の準備作業に

左右には小さな文字が二行（一行約二十字）ずつ刻まれている。今では表面がすっかり苔むして、地元でもこの文字があることなど知る人は少ない。

かつて地元の先生がたがこの表面の苔をすっかり洗い流して現代の活字文に翻訳されて紙上に発表されている。

それによると「正徳の未満水」の被害がいかに大きなものであったかをうかがい知ることができ

る。ただこの翻訳文の字があまりにも難解なためこの際、有志の方数名で研究会を発足し、区にとつても貴重な資料を後世に残すことができるように配慮していただければありがたいと思う。



あま人数が多いと作業が危険ですし、作業場所の設定も難しくなります。

工具を安全に使用する為にチェーンソーの取扱いの講習会を実施して基本を学びました。

人数の調整ができますよう協力をお願いします。最後に、森林の大切さが見直しされております。少しでもより良い環境作りができるように、皆で努めたいと思います。

区民会館大掃除

今年の冬は、例年に比べ、寒さが一足早く訪れました。

寒さきびしき中、十二月二日午後より、各区の分館長・主事の皆さん、支館三役・支館部員によって、区民会館の大掃除が行われました。

外回りをされる方、中をされる方と、各分担当所に分かれ、協力しあい手際よく終える事ができました。普段から綺麗に使って頂いているので早く終了できたと思います。

これを機会に、普段あまり入った事のない部屋の様子を見る事ができ、地域の皆様の交流の場として、広く利用される事を願って建てられた場所である事が、感じられました。すみずみまで、綺麗に

編集後記

平成二十三年より編集委員も新メンバーとなり、二年間に79号より今号の84号まで発行することが出来ました。一昨年の三月に東日本大震災があり、又中学校の改築と、本年はリニアの中間駅の発表があります。真に時代を生きた「下市田区報・館報」であると言わざるを得ません。

これまで快く原稿をお寄せいただいた方々を始め区民の皆様のご愛読に感謝し、本年も区民の皆様方にとりまして良い年であります様祈念し、お礼を申し上げます。



なった各部屋で、来年も各団体の方々に、御利用して頂きたいと思ひます。一年間ありがとうございました。